

ご来館の皆さまへ

お願い

- ・ペットの同伴はお断りしております（ただし盲導犬・介助犬・聴導犬は可）
- ・館内での飲食はご遠慮ください（熱中症対策の水分補給を除く）

西部3Rステーションではフードドライブ活動を行っています！

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか？西部3Rステーションでは常時「フードドライブ」活動を行っています。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で
余っている食品を
ご提供ください！



日時 毎日10:00～16:00※休館日を除く **場所** 西部3Rステーション2階受付

対象となる食品 未使用・未開封のもので、賞味期限まで1か月以上あるもの。
缶詰やレトルト食品、乾物、菓子、米、飲料、調味料など常温保存可能なものに限ります。

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行っています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか？

体験講座

すべて無料！

内容は変更する場合があります

牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



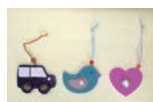
食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



身近なもので万華鏡

毎日 10:30～15:30
所要時間30分程度
申込 随時



廃油で“リサイクル”せっけん作り

水曜日 10:30～11:30
定員 10名/日（先着順）
申込 希望日の3日前まで



体験講座の申込方法 電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①**体験内容**②**住所**③**氏名**④**年齢**⑤**電話番号**を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は
何でも相談ください。

■ふくおか環境倶楽部主催

日時／毎月第2・第4土曜日
13:00～16:00

場所／2F啓発コーナー

参加費／無料 **事前申込**／不要
※基材・テキスト購入可



福岡市西部3Rステーション

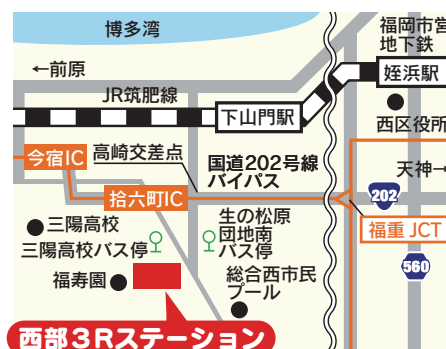
開館時間 10:00-17:00
(衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 月曜日
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL **FAX**
092-882-3190 092-882-4580
〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

**バスで
お越しの方** 姪浜・天神・博多方面より
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分
[西鉄バス情報] <http://www.nishitetsu.jp/bus/>

西部3Rステーション 西鉄バス 博多駅 天神方面
西鉄バス 地下鉄



<http://www.fukuoka-seibuplaza.com> **福岡市西部3Rステーション** **検索**



西部3Rステーション季刊情報誌／2026年7月1日発行
編集・発行／公益財団法人 ふくおか環境財団

この印刷物は自然環境保護のために
植物油インキで印刷しています。

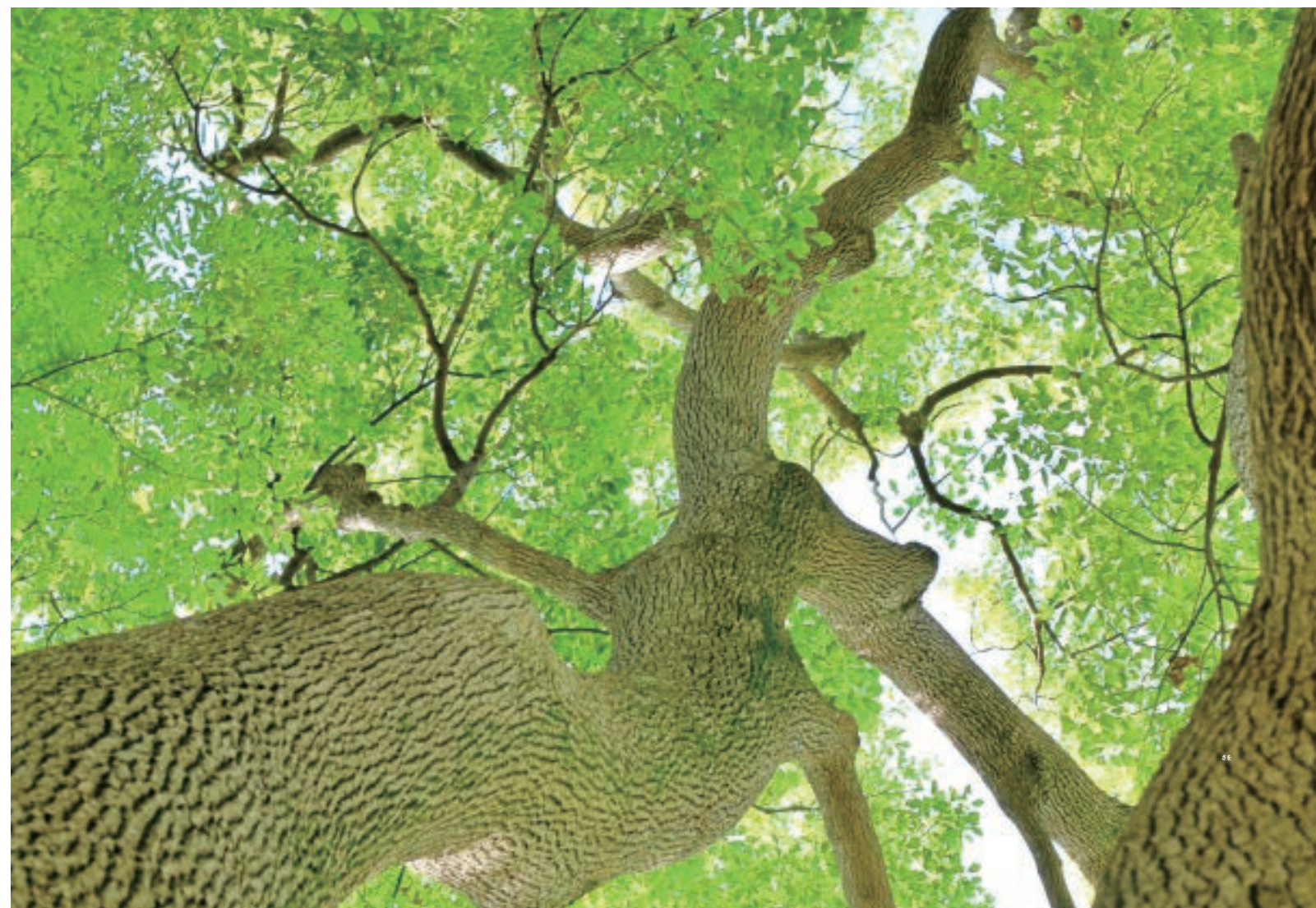
2026年

夏

Vol.210

福岡市西部3Rステーション情報誌

くるくる便り



STOP!気候変動 脱炭素社会を実現しよう！

気候変動の最大の原因と考えられている温室効果ガス。人間活動で排出される温室効果ガスのほとんどが、二酸化炭素(CO₂)です。日本では約9割、世界でも約8割を占めています。CO₂の排出量を減らすことが、気候変動を防ぐことに繋がります。

そこで、CO₂の排出量を実質ゼロにする脱炭素社会の実現が、世界や日本で目指されています。

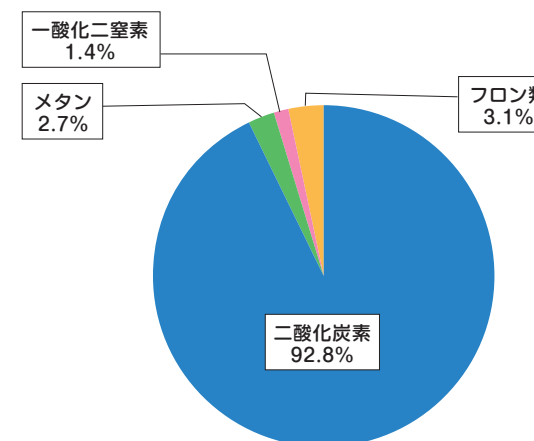
しかし、私たちが生活をしていく上で、CO₂の排出は避けられません。照明や家電製品を使うために必要な電気の多くは、化石燃料を燃やして発電しています。ほかにも、暖房には灯油が、車にはガソリンが燃料として使われています。

脱炭素社会の実現にはどうすればよいのか？ 近年、注目されているキーワードが「カーボンニュートラル」です。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



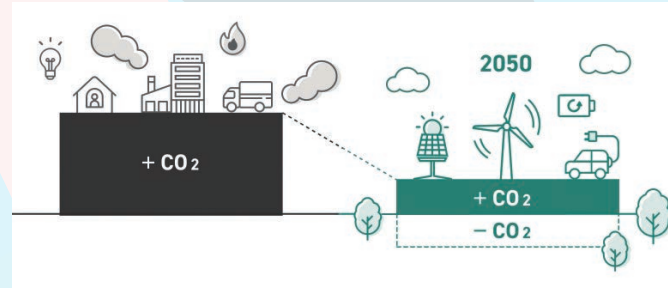
日本の温室効果ガス排出量の割合
(2024年度)



国立環境研究所
「日本の温室効果ガス排出量データ」より作成

カーボンニュートラルとは何だろう？

カーボンニュートラルとは、CO₂の排出量から、吸収量を差し引いてゼロにすることです。
CO₂をできるだけ排出しないように取り組みながら、どうしても排出するCO₂は、森林などで吸収してもらい、全体でプラスマイナスゼロにしようという意味です。

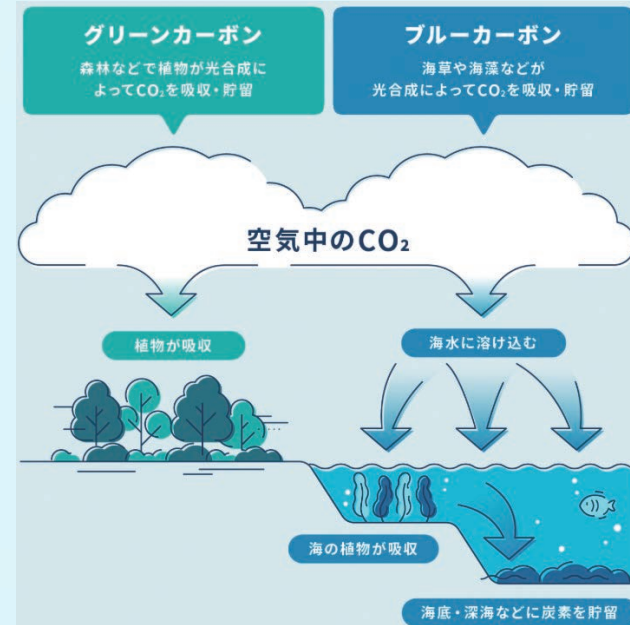


出典：環境省 脱炭素ポータル
カーボンニュートラルとは
[https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/]



空気中のCO₂を陸上の木や草花などの植物が光合成によって吸収していることは、よく知られています。そのときに吸収されるCO₂を「グリーンカーボン」と呼びます。

そして、CO₂の吸収場所として新たに期待されているのが海です。海でもアマモなどの海草やワカメ・コンブなどの海藻が光合成をしています。そのときに吸収されるCO₂を「ブルーカーボン」と呼びます。



出典：環境省 エコジン
特集 ワカメやコンブがCO₂を減らす？
[<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20240828.html>]



西部3Rステーションの取り組み グリーンカーボンに向けて

グリーンカーボンへの取り組みとして、廃棄漁網を使ってグリーンカーテンを作製しています。今年はイベントの一環として木の葉モール橋本さんと、作製から設置まで実施しました。



グリーンカーテンの様子

ブルーカーボンに向けて

ブルーカーボンへの取り組みとして、FUN クリーンアップデーを実施しています。海岸や海中の清掃に加えて、アマモの種子を海に投げ入れます。



FUNクリーンアップデーの様子

CO₂削減のために私たちにできること

○エネルギーの節約

- ・再エネ電気の利用
- ・クールビズ、ウォームビズ（気候に合わせた服装）
- ・節電、節水
- ・省エネ家電の導入
- ・宅配サービスをできるだけ1回で受け取る



○移動関係

- ・徒歩、自転車、公共交通機関で移動
- ・エコドライブ（急発進、急停車をしない等）
- ・電気自動車やハイブリット車の導入

○食関係

- ・食べ残しをしない
- ・食べきれない量を買う
- ・フードドライブの活用
- ・コンポストで生ごみを堆肥にする



○ごみを減らす

- ・マイバッグ、マイボトル等を使う
- ・修理をして長く使う
- ・リユースショップを活用する
- ・資源回収に協力する



○衣服関係

- ・フリマ等を活用する
- ・リメイクして長く使う



参考 COOL CHOICE ウェブサイト
[<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>]



さらなるCO₂排出量の削減のために、福岡市では、令和9年2月から家庭ごみのプラスチックの分別収集が始まります。次回は、その内容について紹介します！